

2011年3月11日の震災時、首都圏では約515万人の帰宅困難者が発生しました。

首都直下の大地震発生直後には、こんな事態が想定されます!

発生直後の一斉帰宅で歩道上は**混雑度6人/m²**という**満員電車状態**が発生

平成20年10月、中央防災会議「首都直下地震避難対策等専門調査会」にて発表された報告より。

避難者のうち、**避難所生活者約460万人**

ターミナル駅は**自宅に戻れない人であふれ、大混乱!!**

トイレが利用できない!

この一斉帰宅の混乱を防ぐためには**むやみに移動を開始しない**が基本原則

移動する前に確認①

家族や自宅の安否

大量の電話が殺到し、不通になることが考えられますので、「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」、SNSなどを利用しましょう。

移動する前に確認②

帰宅ルートは安全か

帰宅ルートに火事、水害などの危険はないか情報を集め確認し、帰宅困難者セットなど震災直後の帰路を歩くための必需品が揃っているかも確認しましょう。



帰るべきか、留まるべきかの判断を!

留まる 一定期間、勤め先や学校に滞在して混雑を避ける

帰宅できない場合や無理に帰宅しない場合に待機できるよう、非常食・飲料水・毛布・災害用トイレなどが備蓄されている、一時滞在施設*や指定避難所などに避難しましょう。

帰る 安全が確認できた、またはやむを得ず、徒歩で帰宅する

帰宅困難者支援マップなどで帰宅ルートを確認したら、歩きやすい靴に履き替え、帰宅困難者セットを準備して歩きましょう。途中、指定された帰宅支援ステーションなどを利用して情報収集や休憩をしながら、無理をせずに帰りましょう。

*一時滞在施設とは 集会場・庁舎やオフィスビルのエントランスホール・ホテルの宴会場・学校などで、帰宅困難者等を一時的に受け入れることについて、自治体の指定を受けるか、協定を締結した施設です。

上水道 **下水道** **電気** **不足し尿処理車**

これらのどれか一つが不全になると**トイレは使用出来なくなります!!**

トイレに関する試算

世田谷区を例にとると、徒歩帰宅途上に利用が想定される幹線道路の沿道200m以内におけるトイレの需給バランスをみた場合、国道246号の世田谷区間においては、トイレ不足状態が17時間継続する可能性がある。

「帰宅行動シミュレーション結果等に基づくトイレ需給等に関する試算について」(内閣府、平成20年10月)より抜粋。

簡単トイレ

バッグなどに携帯できて、単体としても、さまざまなトイレにかぶせても利用でき、後処理も簡単です。



◆サニタクリーン・簡単トイレ 1枚入 **6114**
本体価格 **¥220+税**



高速吸水凝固シートを底部に接着・一体化

◆サニタクリーン・簡単トイレセット 3枚入 (密閉式収納袋付) **6112**

高密閉チャックで、臭気を外に逃がさない収納袋付。簡単トイレ3枚
本体価格 **¥830+税**

*簡単トイレはサニタクリーンシリーズとしてP81で詳しく紹介しています。

避難用品



未曾有の事態、帰宅困難の混乱から、あなたを安全に導くマニュアル!

◆サバイバル・ウォーク・マニュアル **5300**

帰宅困難者が安全に徒歩帰宅するために役立つ情報・知識を記載したマニュアルブックです。実践的サバイバル・ウォークを中心に、事前の準備や心構え、情報収集の仕方、家族との連絡の取り方など、被災時の行動の要点を箇条書きにして「何をすべきか」「何をしてはならないか」がすぐわかる紙面構成になっています。ポケットサイズの新書判で、PP加工の表紙は破れにくく丈夫です。

●主な内容

- 大震災時、都市はこうなる! ○帰宅困難者10か条
- 職場に必ず!サバイバル・ウォーク必需品 ○帰宅ルートや支援施設を知る
- 実践サバイバル・ウォーク ○手当ての心得
- 家族と連絡を取るには? ○確実な災害情報を得るには?

107×174mm 48頁

本体価格 **¥450+税**